

サンプル問題

認定医試験

例題 1. 梅毒について誤っているのはどれか。

- a. 梅毒はオーラルセックスでは感染しない。
- b. 近年、早期顕症(I期+II期)梅毒の届け出が増加している。
- c. コンドームの使用だけでは、梅毒の二次感染防止は困難である。
- d. 妊娠女性が罹患し、治療が遅れると、先天梅毒の児が生まれる恐れがある。
- e. 梅毒の治療は、殺菌的に働き耐性の報告もないペニシリンを第一に選択すべきである。

解答 a

例題 2. 2019(令和元年)年7月現在、日本における子宮頸がんワクチンについて正しいのはどれか。

- a. 生ワクチンである。
- b. 乳児期に接種すべきワクチンある。
- c. 2種類のワクチンが使用可能である。
- d. 推奨される投与経路は皮下注射である。
- e. 男性への接種に関する予防効果は示されていない。

解答 c

認定士試験

選択式問題

例題 1. 第1期梅毒でみられるのはどれか。

- a. ゴム腫
- b. 硬性下疳
- c. 梅毒性バラ疹
- d. 丘疹性梅毒疹
- e. 扁平コンジローマ

解答 b

記述式問題

示されているキーワードを用いて、200字程度で記述せよ。

例題 2. 18歳女性から黄色の帯下があり、陰部がかゆいと相談された。婦人科に行くと診察されるのが嫌なので行きたくないと言っている。どう対応するか述べよ。

キーワード：婦人科受診の必要性 ・ 性感染症の検査 ・ 婦人科の診察内容